

【宗教講座】

日常生活と聖書

聖書学の勉強ではなく、講座名の通り、3人の担当者が、日常生活の中でふと気づいたこと、励まされたこと、安心したことなど主観的に伝える気軽な講座です。参加の皆様の自由な反応や、ご意見もお互いの理解を広げます。正解というのではなく、また発言しない自由も十分あります。

聖書の使用箇所は担当者がそのころの日常生活から考えて決めてお知らせしますが、聖書は用意してありますので、お持ちでなくても大丈夫です。内容に継続性はないので、どの段階での参加も可能です。

日程

2026年

10月7日、11月11日、12月16日

2027年

1月13日、2月17日、3月17日

時間

水曜日・10時30分～12時00分

場所

聖心女子大学4号館
2階 聖心コモンズルーム

受講料

9,000円

講師

Sr. 岩井 慶子（聖心会）
Sr. 田嶋 淳子（聖心会）
Sr. 長谷川 和子（聖心会）

定員
15名



【宗教講座】

キリスト教への招き XI

世界の多くの宗教には固有の祈りや祈り方があります。第11期となる2026年度は、キリスト教二千年の歴史をたどります。イエスの時代と教会の誕生から始まり、迫害と公認、中世の教会、東西教会の分裂、宗教改革とカトリック改革、近代社会との対話、第二バチカン公会議を経て、多様な価値観のある現代のキリスト教の姿までを概説します。

この講座では、カトリック教会の立場から、信者ではない方にもできるだけ分かりやすくお話いたします。これまでの講座を受講していない方も歓迎します。

日程

2026年

10月3日、10月24日、11月14日(※)

2027年

1月9日、2月13日、3月13日

(※)日程について第7回講座の開催日は、11/21→11/14に変更になりました。

時間

土曜日・14時00分～15時30分

場所

聖心女子大学4号館
2階 聖心コモンズルーム

受講料

12,000円

講師

宮越 俊光 (カトリック中央協議会)

定員
15名



【文学講座】

『大和物語』を読む

『大和物語』は、『伊勢物語』と並び称される歌物語の一つであり、平安時代の貴族社会で語られていた恋愛譚や古伝説などを紹介する作品です。我々は、これを読むことによって、平安貴族の興味が何に注がれていたか、また彼らの築いた文化がどのようなものであったかを、如実に知ることができます。ただし、この作品は有名である割に注釈書が少なく、内容が十分には理解できていないのが現状です。この講座では、その各章段を丁寧に読み解きながら、表現の真意を突き止め、文章の魅力を楽しみたいと思います

講義日程

- 10/23 第六回:第一六三段(菊の根)～第一六五段(つひに行く道)
- 11/20 第七回:第一六八段(苔の衣)〈上〉
- 1/22 第八回:第一六八段(苔の衣)〈中〉
- 2/19 第九回:第一六八段(苔の衣)〈下〉
- 3/19 第十回:第一六九段(井手のをとめ)・第一七〇段(青柳の糸)

時間

金曜日・10時30分～12時00分

場所

聖心女子大学4号館
2階 聖心コモンズルーム

受講料

10,000円

講師

山口 佳紀 (聖心女子大学名誉教授)

定員
15名



【教養講座】

鑑賞入門・信長の乙御前、久秀の平蜘蛛
— 武将が愛した茶の湯釜の魅力を探る —

織田信長に攻められ、落城の危機にあった松永久秀は信長が執心していた平蜘蛛を打ち壊して自刃したと伝えています。命に代えるほど茶の湯釜は大切な道具であったのでしょうか。幕末の彦根藩主井伊直弼は、「釜一口にて一会の位定るほどのことなれば、よくよく穿鑿をとぐべし」(『茶湯一会集』)と自著でいっています。

利休も自ら釜の図案を作り、それを釜師に注文するなど茶の湯釜は茶席では重要な道具でありました。釜にまつわる話を織り交ぜ、茶の湯釜の歴史と その魅力について分かりやすくお話し、鑑賞の一助と致します。

日程

10月15日 (木) ・ 10月29日 (木)

時間

13時00分～14時30分

場所

聖心女子大学4号館
2階 聖心コモンズルーム

受講料

4,000円

講師

原田一敏 (福山美術館長・東京芸術大学客員教授)

定員
15名



【教養講座】

新世界遺産登録記念 「飛鳥・藤原の宮都」その意義を読み解く

「飛鳥・藤原」は、東アジアとの交流と伝統の融合によって誕生し、日本初の中央集権体制の宮都を示す文化遺産として、2026年7月に第48回ユネスコ世界遺産委員会において世界遺産に登録されました。

本講座(全2回)では、「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録までの流れや奈良県内の世界遺産の保存・活用について解説します。「飛鳥」から「藤原」への変遷や19の構成資産が示す政治・宗教・墓制における律令国家の形成過程を紐解きながらこの文化遺産を次世代へと確実に継承していけるよう、皆さんとともに理解を深めていきます。



飛鳥宮跡(空撮)

(出典:世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会HP)

日程

11月5日(木)・11月19日(木)

時間

13時00分～14時30分

場所

オンライン講座(ZOOM)

受講料

4,000円

講師

森井 順之 (奈良県地域創造部世界遺産室長)

定員
なし

お申込み お問い合わせ



水墨画の魅力 ー 墨と筆の文化のなかでー

墨と筆とは、千年以上にわたって変わることなく使われてきました。毛筆によって自在な線を引くことができ、水さえあれば自由に濃さを変えられ、深みのある黒やきれいな滲み・ぼかしを作ることができる。このような色料と道具は、世界を見渡しても他にありません。その歴史のなかで「書」や「水墨画」が培った「技」と「美」には、東アジアの文化の粋が詰まっています。

しかし残念なことに、この「筆墨の文化」は、いま衰退しつつあります。この講座では、改めて「墨と筆の文化」と「水墨画」の魅力を紹介し、将来への展望を示せればと思います。



雪舟「破墨山水図」
(東京国立博物館所蔵)

日程

1月21日 (木) ・ 2月4日 (木)

時間

13時00分～14時30分

場所

聖心女子大学4号館
2階 聖心コモンズルーム

受講料

4,000円

講師

島尾 新 (根津美術館理事・横浜美術大学客員教授)

定員
15名

お申込み お問い合わせ

